

北区滝野川地区水防災ワークショップ開催概要

- 北区住民と「大規模水害時、北区でどのようなことが起こるのか」「避難するうえでどのような課題があるのか」を考えることを目的として、全3回のイベント(シンポジウム+ワークショップ)を開催します。
- 10月6日(火)に滝野川地区住民を対象としたワークショップを開催し、滝野川地区の水害リスクを踏まえ、滝野川地区における避難の課題を抽出しました。

日時: 令和2年10月6日(火)18時30分～20時30分

場所: 滝野川会館 小ホール

参加者: 北区滝野川地区(昭和町、東田端)の住民21名

▼ **前半の部:** 避難行動検討のポイント(北区講演) …35分

＜確認＞ 地区の水害リスクを確認する

＜学ぶ＞ 防災情報の取得方法、利用方法を知る

▼ **後半の部:** 地区の課題の抽出(ワークショップ) …60分

＜話し合う＞ 地区の課題とその解決方法をグループで議論し、内容を共有する



感染症対策のため、会場の座席は間隔を開けたうえで卓上パーテーションを設置しました



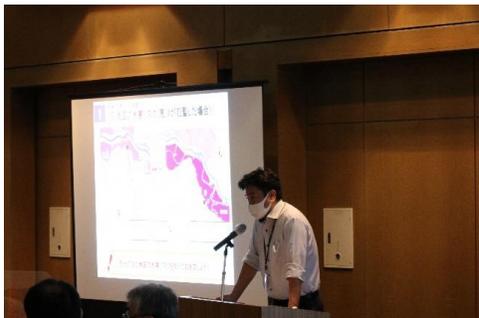
受付にも飛沫防止パーテーションを設置し、参加者全員の検温と手指消毒を行いました



北区役所 小宮山室長による開会挨拶



第1回シンポジウムで講演いただいた東京大学 加藤教授には、開会時にオンラインでご挨拶いただきました



ワークショップでの話し合いに先駆けて、北区役所から避難行動検討のポイントを解説しました



ワークショップでは、各地区の水害リスクを踏まえ、避難の課題とその解決方法について地区ごとに意見を出し合いました



近距離での会話を避けるため、ファシリテーターが中心になり会話をつなげていきました



話し合いの最後に、話し合った結果を代表者が発表し、全体で共有しました